



平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社葵プロモーション
 コード番号 9607 URL <http://www.aoi-pro.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤原 次彦
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 八重樫 悟

TEL 03-3779-8000

四半期報告書提出予定日 平成23年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	10,518	11.2	800	194.4	289	369.1	176	△11.7
22年3月期第3四半期	9,456	△15.3	271	△6.7	61	△73.2	200	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	14.91	14.79
22年3月期第3四半期	16.75	16.68

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	16,281	9,210	55.2	757.62
22年3月期	15,727	9,221	57.5	762.95

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 8,984百万円 22年3月期 9,047百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	7.00	—	13.00	20.00
23年3月期	—	7.00	—		
23年3月期(予想)				13.00	20.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,400	8.7	1,130	28.0	1,000	68.0	580	21.9	48.91

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期3Q 13,334,640株 22年3月期 13,334,640株

② 期末自己株式数 23年3月期3Q 1,475,800株 22年3月期 1,475,930株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期3Q 11,858,951株 22年3月期3Q 11,956,463株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書	8
【第3四半期連結累計期間】	8
【第3四半期連結会計期間】	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12
(4) 継続企業の前提に関する注記	14
(5) セグメント情報	14
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	15
4. 補足情報	16
(1) 受注及び販売の状況	16
(2) 経営指標の状況	17

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期におけるわが国経済は、対外部門については、海外経済の減速が続く中で輸出が低迷していること、企業部門でも、業績の改善テンポが鈍化していることもあり、企業マインドが悪化していること、家計部門についても、雇用・所得環境の改善が足踏み状態を続ける中で消費者マインドの悪化が続き個人消費が弱含んでいることなどから、景気が一時的に停滞する「踊り場」の中にあります。

こうしたわが国経済の動きを反映し、広告需要は底を打ったものの、大きく回復するには至っておりませんが、その中で、当社が主力とするテレビコマーシャルの需要は、引き続き、メディアの新しい展開による広告媒体の多様化の影響を受けながらも、回復基調を維持しております。

このような環境の中にありまして、当社グループでは、前連結会計年度に引き続き、制作原価率の抑制、コストの削減等による収益力の強化と、グループ全体の営業体制強化に努め、全社を挙げてより一層の業績の改善に努めてまいりました。

こうした取り組みにより、当社の当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期を上回り計画を達成しました。利益についても、営業利益、経常利益は前年同期比大幅な増益となり、計画を上回りました。しかしながら、四半期純利益は、当社持分法適用会社の株式評価損と同社に対する貸付金の貸倒引当金を特別損失に計上したことから、前年同期を下回りました。

また、子会社の業績についても、前年同期に比べて総じて改善しており、売上高・利益ともに㈱ワサビを除く全社が増収増益となりました。写真スタジオ事業(コンシューマ向け写真館運営事業ならびに全国の写真館に対する販売促進支援事業)を目的として、平成22年9月、東京ミッドタウンに「写真スタジオ hollyhock」第一号店をオープンした㈱ホリーホックは、現状、創業赤字の状態ですが、早期の黒字化を目指して積極的に事業を推進してまいります。なお、情報流通事業を行う当社持分法適用会社㈱タクサシステムズは、平成22年12月27日に開催した同社臨時株主総会にて解散を決定し、現在、清算手続き中であり、連結決算においては、営業外費用に持分法による投資損失を計上しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の連結業績は、売上高105億1千8百万円(前年同四半期比111.2%)、営業利益8億円(前年同四半期比294.4%)、経常利益2億8千9百万円(前年同四半期比469.1%)、四半期純利益1億7千6百万円(前年同四半期比88.3%)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の資産合計残高は162億8千1百万円(前連結会計年度末比5億5千3百万円増)となりました。これは、受取手形及び売掛金の減少もありましたが、主に現金及び預金、仕掛品や有形固定資産の増加等によるものです。

負債の状況

当第3四半期連結会計期間末の負債合計残高は70億7千万円(前連結会計年度末比5億6千3百万円増)となりました。これは、主に借入金の増加等によるものです。

純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計残高は92億1千万円(前連結会計年度末比1千万円減)となりました。これは、主に配当金の支払いによるものです。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物残高は23億5千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ、1億2千6百万円増加しました。これは、主に営業活動及び財務活動による収入が投資活動による支出を上回ったことによるものです。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、2億3千万円(前年同四半期比15億4千3百万円減)となりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益及び売上債権・仕入債務の減少等、貸倒引当金・たな卸資産の増加等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、7億6千9百万円(前年同四半期比5億4千8百万円増)となりました。これは、敷金及び保証金の回収及び貸付金の回収による収入もありましたが、主に貸付金の貸付、レイアウト変更に伴う有形固定資産の取得、敷金及び保証金の差入及び定期預金の預入による支出等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、6億6千4百万円(前年同四半期に使用した資金は8億1千5百万円)となりました。これは、主に長短借入れによる収入等によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後のわが国経済は、対外部門については、海外経済の回復テンポが次第に高まり、輸出が緩やかに持ち直しに向かうとみられること、企業部門でも、エコカー補助金の終了により落ち込んでいた自動車生産が底入れしていることに加え、輸出の持ち直しが下支えとなり、生産活動が緩やかな回復基調に復し、企業マインドの悪化に歯止めがかかること、家計部門についても、個人消費はエコポイントの付与厳格化により当面低迷する可能性が高いものの、雇用・所得環境は全体として改善に向かうとみられることなどから、今後、停滞局面を脱していくものの、経済の活動水準は潜在生産量を下回る状態が続くものと思われまます。こうしたことから、今後の広告需要も急激な回復は見込めないものと考えております。

このような環境の中、当社グループとしては、引き続き、積極的な営業活動と、制作原価率の抑制、コストの削減等による収益力の強化に取り組んでいく所存であります。

通期の連結業績の見通しにつきましては、平成22年11月5日に公表のとおり、平成22年5月17日の決算発表時に公表しました通期業績の達成を目指してまいります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

(簡便な会計処理)

一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

原価計算の方法

年度決算では実際原価計算によっておりますが、四半期決算では社内経費については予定価格を適用しており、これにより生じた原価差異を仕掛品と売上原価へ配賦しております。

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度にかかる減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

「持分法に関する会計基準」及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

第1四半期連結会計期間より、「持分法に関する会計基準」(企業会計基準第16号 平成20年3月10日公表分)及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第24号 平成20年3月10日)を適用しております。

これによる経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

「資産除去債務に関する会計基準」の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、営業利益及び経常利益がそれぞれ3,295千円、税金等調整前四半期純利益が11,148千円減少しております。また、当会計基準の適用開始による資産除去債務の変動額は35,900千円であります。

表示方法の変更

(四半期連結損益計算書関係)

1. 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づき財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用に伴い、当第3四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。
2. 前第3四半期連結累計期間において、特別利益の「その他」に含めていた「事務所移転損失引当金戻入額」は重要性が増加したため、当第3四半期連結累計期間では区分掲記することとしました。なお、前第3四半期連結累計期間の特別利益「その他」に含まれる「事務所移転損失引当金戻入額」は207千円であります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1. 前第3四半期連結累計期間において「投資活動によるキャッシュ・フロー」の「投資その他の資産の増減額(は増加)」に含めていた「定期預金の預入による支出」は重要性が増加したため、当第3四半期連結累計期間では区分掲記することとしました。なお、前第3四半期連結累計期間の「投資活動によるキャッシュ・フロー」の「投資その他の資産の増減額(は増加)」に含まれる「定期預金の預入による支出」は8,726千円であります。
2. 前第3四半期連結累計期間において「投資活動によるキャッシュ・フロー」の「投資その他の資産の増減額(は増加)」に含めていた「貸付けによる支出」は重要性が増加したため、当第3四半期連結累計期間では区分掲記することとしました。なお、前第3四半期連結累計期間の「投資活動によるキャッシュ・フロー」の「投資その他の資産の増減額(は増加)」に含まれる「貸付けによる支出」は11,300千円であります。
3. 前第3四半期連結累計期間において「投資活動によるキャッシュ・フロー」の「投資その他の資産の増減額(は増加)」に含めていた「貸付金の回収による収入」は重要性が増加したため、当第3四半期連結累計期間では区分掲記することとしました。なお、前第3四半期連結累計期間の「投資活動によるキャッシュ・フロー」の「投資その他の資産の増減額(は増加)」に含まれる「貸付金の回収による収入」は1,812千円であります。
4. 前第3四半期連結累計期間において「投資活動によるキャッシュ・フロー」の「投資その他の資産の増減額(は増加)」に含めていた「敷金及び保証金の差入による支出」は重要性が増加したため、当第3四半期連結累計期間では区分掲記することとしました。なお、前第3四半期連結累計期間の「投資活動によるキャッシュ・フロー」の「投資その他の資産の増減額(は増加)」に含まれる「敷金及び保証金の差入による支出」は92,846千円であります。
5. 前第3四半期連結累計期間において「投資活動によるキャッシュ・フロー」の「投資その他の資産の増減額(は増加)」に含めていた「敷金及び保証金の回収による収入」は重要性が増加したため、当第3四半期連結累計期間では区分掲記することとしました。なお、前第3四半期連結累計期間の「投資活動によるキャッシュ・フロー」の「投資その他の資産の増減額(は増加)」に含まれる「敷金及び保証金の回収による収入」は161,929千円であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,555,996	2,273,840
受取手形及び売掛金	5,196,415	5,721,733
仕掛品	1,018,626	370,079
貯蔵品	20,035	22,857
その他	320,500	496,046
貸倒引当金	30,938	12,330
流動資産合計	9,080,634	8,872,227
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,566,073	3,566,073
その他(純額)	1,559,145	1,322,219
有形固定資産合計	5,125,218	4,888,293
無形固定資産		
のれん	108,205	137,716
その他	125,516	108,110
無形固定資産合計	233,722	245,827
投資その他の資産		
投資有価証券	751,935	756,424
その他	1,108,452	977,550
貸倒引当金	18,758	12,676
投資その他の資産合計	1,841,629	1,721,298
固定資産合計	7,200,570	6,855,419
資産合計	16,281,205	15,727,646
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,269,092	1,643,752
短期借入金	2,311,981	1,698,990
未払法人税等	178,580	265,649
賞与引当金	30,226	58,839
役員賞与引当金	2,500	2,000
その他	609,874	512,797
流動負債合計	4,402,255	4,182,028
固定負債		
長期借入金	2,379,268	2,066,668
長期未払金	123,519	126,824
退職給付引当金	50,608	58,176
役員退職慰労引当金	43,632	39,223
資産除去債務	34,892	-
負ののれん	8,579	13,289
その他	27,560	20,318
固定負債合計	2,668,061	2,324,499
負債合計	7,070,317	6,506,528

(単位:千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,323,900	3,323,900
資本剰余金	3,944,055	3,944,754
利益剰余金	2,626,786	2,688,567
自己株式	928,699	929,129
株主資本合計	8,966,042	9,028,092
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	18,467	19,496
評価・換算差額等合計	18,467	19,496
新株予約権	47,633	37,437
少数株主持分	178,743	136,092
純資産合計	9,210,888	9,221,118
負債純資産合計	16,281,205	15,727,646

(2) 四半期連結損益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	9,456,726	10,518,999
売上原価	7,871,141	8,404,220
売上総利益	1,585,585	2,114,779
販売費及び一般管理費		
役員報酬	247,177	279,368
従業員給料	354,137	271,349
株式報酬費用	28,944	1,804
賞与引当金繰入額	5,648	3,157
役員賞与引当金繰入額	1,500	1,500
退職給付費用	13,225	12,846
役員退職慰労引当金繰入額	20,544	4,409
貸倒引当金繰入額	795	24,689
のれん償却額	29,510	30,410
その他	612,197	684,691
販売費及び一般管理費合計	1,313,682	1,314,227
営業利益	271,903	800,551
営業外収益		
受取利息	556	2,497
受取配当金	4,244	7,740
為替差益	2,444	987
受取保険金	22,137	4,287
負ののれん償却額	4,710	4,710
その他	10,452	14,375
営業外収益合計	44,545	34,599
営業外費用		
支払利息	72,413	69,618
持分法による投資損失	169,497	461,157
その他	12,824	14,865
営業外費用合計	254,735	545,642
経常利益	61,713	289,508
特別利益		
固定資産売却益	-	776
貸倒引当金戻入額	135,913	-
投資有価証券売却益	28,418	-
持分変動利益	47,969	38,804
事業譲渡益	124,996	-
保険解約返戻金	23,924	-
会員権売却益	-	1,476
事務所移転損失引当金戻入額	-	2,170
その他	12,207	-
特別利益合計	373,430	43,227

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
特別損失		
投資有価証券評価損	4,360	4,292
固定資産除却損	2,150	4,296
会員権評価損	7,914	13,513
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	7,852
事務所移転費用	21,857	-
事務所移転損失引当金繰入額	56,588	25,421
その他	-	1,001
特別損失合計	92,871	56,377
税金等調整前四半期純利益	342,272	276,358
法人税、住民税及び事業税	36,096	260,345
法人税等調整額	98,911	208,830
法人税等合計	135,007	51,514
少数株主損益調整前四半期純利益	-	224,843
少数株主利益	7,013	48,013
四半期純利益	200,251	176,830

【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
売上高	3,307,813	3,408,385
売上原価	2,708,394	2,669,672
売上総利益	599,418	738,713
販売費及び一般管理費		
役員報酬	79,370	98,762
従業員給料	108,505	88,599
株式報酬費用	626	573
賞与引当金繰入額	5,049	3,157
役員賞与引当金繰入額	500	500
退職給付費用	634	1,249
役員退職慰労引当金繰入額	1,256	1,331
貸倒引当金繰入額	-	3,966
のれん償却額	8,336	9,836
その他	208,512	224,537
販売費及び一般管理費合計	412,791	432,515
営業利益	186,626	306,197
営業外収益		
受取利息	153	132
受取配当金	1,650	1,920
為替差益	913	113
受取保険金	20,374	806
負ののれん償却額	1,570	1,570
その他	3,629	2,426
営業外収益合計	28,291	6,969
営業外費用		
支払利息	24,938	25,526
持分法による投資損失	23,189	355,001
その他	3,962	2,612
営業外費用合計	52,090	383,141
経常利益又は経常損失()	162,827	69,974
特別利益		
貸倒引当金戻入額	128,813	87,075
持分変動利益	47,969	-
保険解約返戻金	23,924	-
特別利益合計	200,708	87,075

(単位:千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
特別損失		
投資有価証券評価損	4,360	-
会員権評価損	6,600	10,783
固定資産除却損	1,503	2,743
事務所移転費用	21,857	-
事務所移転損失引当金繰入額	4,562	25,421
その他	-	1,001
特別損失合計	38,883	39,949
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純 損失()	324,652	22,848
法人税、住民税及び事業税	19,858	120,435
法人税等調整額	43,924	141,563
法人税等合計	63,782	21,127
少数株主損益調整前四半期純損失()	-	1,720
少数株主利益	1,162	22,432
四半期純利益又は四半期純損失()	259,706	24,152

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	342,272	276,358
減価償却費	246,313	267,643
のれん償却額	29,510	30,410
持分法による投資損益(は益)	169,497	461,157
投資有価証券売却損益(は益)	28,418	-
貸倒引当金の増減額(は減少)	146,146	24,689
退職給付引当金の増減額(は減少)	9,829	15,907
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	1,502	4,409
賞与引当金の増減額(は減少)	69,932	28,613
受取利息及び受取配当金	4,800	10,238
支払利息	72,413	69,618
為替差損益(は益)	28	397
売上債権の増減額(は増加)	2,403,876	518,263
たな卸資産の増減額(は増加)	328,480	645,724
事業譲渡損益(は益)	124,996	-
その他の流動資産の増減額(は増加)	49,587	69,345
仕入債務の増減額(は減少)	457,587	374,659
その他の負債の増減額(は減少)	49,345	125,596
その他	834	5,677
小計	2,092,754	639,734
利息及び配当金の受取額	4,750	9,613
利息の支払額	72,892	75,759
法人税等の支払額	250,510	343,181
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,774,102	230,407
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	-	207,695
有形固定資産の取得による支出	182,278	458,024
有形固定資産の売却による収入	176	7,650
無形固定資産の取得による支出	7,559	55,380
投資有価証券の取得による支出	306,182	10,000
投資有価証券の売却による収入	163,584	-
貸付けによる支出	-	250,000
貸付金の回収による収入	-	83,992
敷金及び保証金の差入による支出	-	185,222
敷金及び保証金の回収による収入	-	239,460
保険積立金の解約による収入	49,930	28,488
投資その他の資産の増減額(は増加)	61,390	37,268
投資活動によるキャッシュ・フロー	220,937	769,463

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	969,800	350,000
長期借入れによる収入	1,230,000	1,617,000
長期借入金の返済による支出	780,909	1,041,409
社債の償還による支出	10,000	10,000
リース債務の返済による支出	16,520	6,478
新株予約権の行使による株式の発行による収入	-	2
自己株式の取得による支出	25,717	828
配当金の支払額	275,169	237,184
少数株主への配当金の支払額	-	6,600
財務活動によるキャッシュ・フロー	815,075	664,501
現金及び現金同等物に係る換算差額	28	397
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	738,117	125,047
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	1,517
現金及び現金同等物の期首残高	1,584,382	2,233,176
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,322,500	2,359,742

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

映像制作事業の売上高及び営業利益の金額は、全セグメントの売上高の合計額及び営業利益の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計額に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

【セグメント情報】

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、主にCM作品、WEB作品の制作及び催事の運営等の「広告制作事業」を行っておりますが、平成21年4月に、生活行動情報等を処理及び提供する「情報流通事業」を行う当社持分法適用会社㈱タクサシステムズを立ち上げました。また、平成22年6月、当社連結子会社㈱ホリーホックにて、消費者向け写真館運営事業及び全国の写真館に対する販売促進支援を行う「写真スタジオ事業」を開始することを決定し、「写真スタジオhollyhock」第一号店を、平成22年9月、東京ミッドタウンにオープンしました。

したがって、当社グループはサービス別に「広告制作事業」「写真スタジオ事業」「情報流通事業」の3つを報告セグメントとしております。

なお、「情報流通事業」を行う当社持分法適用会社㈱タクサシステムズにつきましては、平成22年12月27日に開催された同社臨時株主総会において解散を決定し、現在、清算手続き中であります。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	広告制作	写真スタジオ	情報流通 (注)1	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	10,509,026	9,973		10,518,999		10,518,999
セグメント間の内部売上高又は振替高	6,981	734		7,716	7,716	
計	10,516,008	10,708		11,199,957	7,716	10,518,999
セグメント利益又は損失()	849,726	99,060	461,157	289,508		289,508

(注)1. 「情報流通」は、当社持分法適用会社における事業であり、連結損益計算書の持分法投資損失のみ計上しております。

2. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 受注及び販売の状況

部門別売上高明細表

(単位：千円、%)

		前年同四半期 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)		当四半期 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)		前連結会計年度 (自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
CM作品	オリジナル	6,021,049	63.7	6,141,341	58.4	9,141,264	64.5
	改訂	208,904	2.2	266,071	2.5	397,842	2.8
映像作品		1,094,601	11.5	1,459,198	13.9	1,652,061	11.6
その他	プリント	602,422	6.4	773,704	7.4	858,922	6.1
	企画等	632,410	6.7	653,617	6.2	894,696	6.3
	その他	897,337	9.5	1,215,093	11.5	1,226,765	8.6
広告制作事業		9,456,726	100.0	10,509,026	99.9	14,171,554	100.0
写真スタジオ事業				9,973	0.1		
情報流通事業							
合計		9,456,726	100.0	10,518,999	100.0	14,171,554	100.0

部門別受注状況明細表

(単位：千円)

		前年同四半期 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)		当四半期 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)		前連結会計年度 (自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)	
		受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
CM作品	オリジナル	5,853,569	625,800	6,366,409	824,017	8,946,934	598,950
	改訂	160,404		269,715	5,093	350,792	1,450
映像作品		1,222,360	217,551	1,617,297	377,901	1,782,071	219,801
その他	プリント	602,422		773,704		858,922	
	企画等	638,559	19,180	627,015	15,048	923,315	41,650
	その他	897,337		1,215,093		1,226,765	
広告制作事業		9,374,655	862,531	10,869,236	1,222,061	14,088,802	861,851
写真スタジオ事業				9,973			
情報流通事業							
合計		9,374,655	862,531	10,879,209	1,222,061	14,088,802	861,851

(2) 経営指標等の状況

平成23年3月期

(単位:千円)

	第1四半期 (22年4月~22年6月)	第2四半期 (22年4月~22年9月)	第3四半期 (22年4月~22年12月)	第4四半期 (22年4月~23年3月)
売上高	2,850,262	7,110,614	10,518,999	
売上総利益	519,054	1,376,066	2,114,779	
営業利益	73,701	494,354	800,551	
経常利益	12,722	359,483	289,508	
税金等調整前当期 純利益	44,406	299,206	276,358	
当期純利益	85,896	200,982	176,830	

平成22年3月期

(単位:千円)

	第1四半期 (21年4月~21年6月)	第2四半期 (21年4月~21年9月)	第3四半期 (21年4月~21年12月)	第4四半期 (21年4月~22年3月)
売上高	2,809,600	6,148,913	9,456,726	14,171,554
売上総利益	364,588	986,166	1,585,585	2,542,498
営業利益(損失)	104,672	84,496	271,903	883,123
経常利益(損失)	160,243	101,290	61,713	595,389
税金等調整前当期 純利益(損失)	138,333	17,620	342,272	895,287
当期純利益 (損失)	121,096	59,454	200,251	475,701

平成21年3月期

(単位:千円)

	第1四半期 (20年4月~20年6月)	第2四半期 (20年4月~20年9月)	第3四半期 (20年4月~20年12月)	第4四半期 (20年4月~21年3月)
売上高	3,331,701	7,684,260	11,164,502	16,765,815
売上総利益	344,979	969,228	1,440,467	2,133,089
営業利益(損失)	31,157	253,909	291,430	432,308
経常利益(損失)	46,395	224,796	230,643	388,875
税金等調整前当期 純利益(損失)	194,333	56,321	30,990	51,638
当期純利益 (損失)	148,221	85,876	181,181	289,648